



東京パラリンピックまであとわずか

スポーツにかけける想い



企業にアスリートとして雇用され、滋賀県だけでなく大阪府や京都府にも飛び回り、日々試合や練習に励む宇野さん。22歳の時に交通事故で頸髄を損傷し、四肢に麻痺が残り、握力もほとんどなくなりました。

卓球 宇野正則さん (37歳)

▲特注バンドで、ラケットを手に固定してプレーします

家族の支えがあったって
今の自分がいる

体力維持目的のスポーツが、いつしか世界で活躍したいと思うように

体力を落とさないと考えた宇野さんは、車椅子生活になってからも、さまざまなスポーツを経験。「世界をめざせる競技をしたい」と感じていた頃に、卓球と出会い、平成29年5月に友人と車椅子卓球チーム「M・S・T」を立ち上げました。

卓球をはじめ、2年も経たない間に日本代表

平成29年11月、初めて参加した国際クラス別パラ卓球選手権大会でベスト8、翌年の同大会ではベスト4と、着実に結果を重ねていきます。今年2月には日本代表選手に選考され、スペインでの国際大会に初めて出場することができました。

家族の理解に感謝

30歳で結婚し、2人の子どもがいる宇野さん。パラリンピックに出場するには国際大会に出て、世界ランキングを上げる必要がありますが、海外遠征には多額の費用がかかります。子どもが幼いこともあり、遠征を迷っていたら、「今年やると決めたなら頑張る」と背中を押してくれたのは家族でした。宇野さんは「家族の支えがあったって、今の自分がいる」と感謝を忘れません。

パラリンピックに向けて

東京パラリンピックの出場者は、世界ランキング上位者から選ばれます。日本代表になったばかりの宇野さんにとって、東京パラリンピックへの道のりはとても厳しいものです。しかし、「可能性がゼロではない限りあきらめない」と、世界ランキングを少しでも上げるため、今後でもできる限り、多くの国際大会に出場する予定です。



車椅子卓球って？

ルールは一般の卓球とほとんど同じですが、障害を考慮して次の点が違います

- 障害の程度によって、クラス分けされている
- 卓球台は、車椅子が奥まで入れるようになっている

ポッチャってどんなスポーツ？

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツ。相手のボールをはじいたりして、自分が優位に立てるように位置取りをするのでカーリングのようですが、ジャックボールを移動させることができるため、また違った魅力もあります。



障害によっては、「ランプ」と呼ばれる補助具を使用し、競技アシスタントのサポートを受け投球します。

いつしか「するもの」から「見るもの」になったスポーツ
それを変えてくれたのがポッチャ

幼い頃はドッジボールやサッカーが好きだった江川さんですが、病気の進行とともに、スポーツがしづらい状態になっていた時、高校の後輩からポッチャを勧められました。そこで、スポーツの楽しさを改めて感じ、ポッチャがパラリンピック競技であることを知ります。「どうせやるなら極めよう」と思い、ポッチャチーム「ライトニング滋賀」を立ち上げ、平成26年から本格的に始めました。平成28年には滋賀県大会で優勝し、平成29年11月には、日本ポッチャ選手権で準優勝しました。

今の体でできるように工夫することは楽しくもある

自分の生活環境や性格を変えてくれた
仕事中心の生活だった江川さんですが、ポッチャを始めたことで、人間関係や行動範囲が広がって、国際大会に出場したことで海外に知人もできました。また、人前に出て話すことが苦手でしたが、今では講演を依頼されることもあり、少しずつ人前で自信を持つて話せるようになってきたそうです。

パラリンピックに向けて

江川さんが東京パラリンピックに出場するためには、12月20日に愛知県で開催される第21回日本ポッチャ選手権で優勝することが絶対条件です。ポッチャを始めた当初から、パラリンピック出場をめざしている江川さんは、その実現に向けて、日夜練習に励んでいます。



▲「ランプ」を使って投球する江川さん

ウェブ制作の仕事をし、障害福祉サービスを使いながら1人暮らしをしている江川さん。4歳の時に筋ジストロフィーの診断を受け、現在は四肢に障害があります。

ポッチャ

江川拓馬さん(29歳)

2人の願いは「競技人口が増える」こと

卓球とポッチャに共通することは、

- 年齢を問わない
- 障害の有無に関わらず、対戦することができる
- 日常的に車椅子を使用している人がはじめやすいスポーツ(競技用の車椅子は必要ありません)
- 重度の障害があっても、パラリンピック出場をめざせる

ぜひ、体験してみてください!

観戦・挑戦してみよう!

市内でポッチャの体験イベントを開催

だれでも参加OK

🕒 来年2月9日(日) 13:30～15:30

📍 YMITアリーナ(野村三)

📞 市身体障害者更生会(西渋川一)

☎ 563-4946

障害福祉課(1階)

☎ 561-2363、☎ 561-2480

障害者スポーツの活動拠点

卓球やポッチャの他、バスケットボールやバドミントンなど、さまざまな種目のスポーツ団体が活動しています。

📍 県立障害者福祉センター(笠山八)

☎ 564-7327、☎ 564-7641

障害者週間にパネル展を開催

障害者理解・啓発を推進するため、障害者福祉関係団体の事業所紹介パネルや作品を展示します。

🕒 12月3日(火)～9日(月)

📍 障害者福祉センター(西渋川二)

☎ 569-0351、☎ 569-0354